

修了評価の方法

評価基準作成者： 秋吉由美子

<p>評補講価方法及び合格基準</p>	<p>1 出題範囲 (2) 介護における尊厳の保持・自立支援～ (9) ころとからだの仕組みと生活支援技術までとする。</p> <p>評価のポイント テキスト P47・93・145・186・222・250・280・460 参照</p> <p>2 出題形式 ○×式とする。 A 問題と B 問題のいずれかを出題する。</p> <p>3 出題数 ○×問題 25 問 (配点 1 問につき 4 点) 全問正解 (100 点満点)</p> <p>4 合否判定基準 60 点以上とする。</p> <p>5 不合格になったときの取扱い 結果発表後、不合格者は改めて 1 時間の補講→再評価 (2 回目～千円必要) 再評価の合格基準点は 60 点以上とする。 再試験で不合格の場合千円で受けなおす。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---------------------	--